独創の技 磨き勝つ！

中国・四国地域には特徴ある産業が集積している。特に素材型産業、加工組み立て型産業の集積は他地域にない強みで、それらを支える中堅・中小企業の層も厚い。オンリーワン・ナンバーワン企業も多数存在する。比較的モノづくり産業の集積が弱い山陰でも、島根県のようにコンピューター言語〝ルビー〟による地域活性化など、新たな動きが強まっている。回復基調だった日本経済はここにきて不透明さを増し、経営のかじ取りが難しくなってきた。中国・四国の有力経営者に次の成長戦略について聞いた。

次代の成長戦略

中国・四国の有力企業トップに聞く

歴史・自然から学び 一手

宇治電化学工業
西山 彰一 社長

物事の本質が見えにくくなるほどに、歴史と自然から学ぶことで次の一手が見えるように思う。歴史の書物からは、先人の示唆に富んだ知恵が伝わってくる。混迷する時代を乗り切る時、書物をひもとき、先人が今この問題に直面したらどのように答え、行動をするだろうかとじっくりと思いをはせてみたくなる。

また、自然に学ぶことから有史以来、多くの発見や技術が確立している。鳥の翼の動きや、トビウオのヒレの構造などからの自然の法則を知ることができる。それらの法則を忘れてしまうと、どのような結果になるか、数々の失敗から学ぶことは多い。

次なる一手は、謙虚な気持ちで歴史と自然から学ぶという人間だからこそできる能力に注目したい。平凡な日常生活で得られる楽しさや喜びが「生きる力」をはぐくんでくれるのではないだろうか。

（高知市、088・832・6161）

情報の発信・確保が重要

扶桑ゴム産業
田村 雅春 社長

ゴムの切削加工を武器に、ニッチな業界を相手にするわが社がどうすれば特異な技術を広く知ってもらえるかを常に考えてきた。この意味でも、情報の発信と確保を社内最重要課題と位置づけている。

人手をかければ結果が出る時代ではなくなった。その点インターネットは常に開かれた窓で、魅力のある技術があれば拡散する可能性は高い。数年前からウェブサイト受注体制を整えた。さらにネット受注の窓となる紙製カタログを作った。なぜ紙媒体かというと、ネットにはない触覚を与えられるからだ。手軽に回読ができ、全体の把握が可能になる。現状では紙に勝るモノはないと考えている。

今春からは、ウェブ上で簡単に設計と見積もりを発注できるサービスを追加した。今後も情報の伝達と確保を大切にし、いつでも加工対応できる準備を整えておくことが復興支援につながることと信じている。

（広島市南区、082・251・8555）

〝誰かのために〟の精神で

ケミカル山本
山本 正登 社長

わが社は、この6月で創業30周年を迎える。30年程度の歴史がある会社はいくらでもあるが、わが社の場合は、私が定年退職後に第2の人生として創業したのだから、特異な会社かも知れない。

ステンレス鋼の溶接焼け取り作業で使われる人体に悪影響のある「硝フッ酸」を追放しようとしたのが創業のきっかけだ。誰かのためにという精神は30年たったいまでも一貫して流れている。

私が定年まで三菱重工業広島研究所に勤めていた縁もあり、三菱出身の技術者が一緒にやってくれるようになり、製品構成を順調に拡大できた。ステンレス鋼の生命ともいうべき不動態被膜を破壊することなく、逆に耐食性を増す表面改質技術や、応力腐食割れを防ぐ技術など熟練技術者の知恵から生まれた。

熟練技術者の雇用とともに新卒の採用始めた。モノづくりと、その伝承で、少しは社会貢献ができるようになったのではなかろうか。

（広島県廿日市市、0829・30・0887）

マンパワーで積極攻勢

明大
小河原 敏嗣 社長

近年、日本経済は全体的に停滞しており特殊織物業界も例外ではない。この厳しい状況の中で当社が常に取り組み、築いてきた強みは従業員の集中力と瞬発力だ。社員全員が豊かな発想で製品の開発や提案にかかわり一致団結している。そういう意味ですべての社員が製品開発要員だと考えている。ユーザーからの相談や要請があればすぐに訪問し対応できることや、他社がまねできない納期の早さは、合理化された生産体制によるところも大きいが、このマンパワーが実現可能にしている。

東日本大震災の復興のため、がれきの中から船を吊り上げトラックに積み込む作業に当社のロックスリングが必要とされている。こういう事実をしっかりと伝え、自分たちの行いを実感させることで社員全員の意識を高めベクトルを合わせる。当社は今後もこの姿勢でモノづくりに取り組む。

（岡山県倉敷市、086・485・1355）

食文化発展と健康に貢献

四国化工機
植田 滋 社長

食品充てん機などの機械事業は円高や中国など低コスト国の台頭も含め、変化する市場環境への迅速な対応が大切だ。新技術の開発促進や図面・仕様の見直し、モノづくりを原点から見つめ、価格競争力の向上を目指す。

食品事業では「こだわり品質」を掲げる。「安全・安心」を基盤とした「さとの雪」商品づくりに加え、お客さま目線で商品開発に注力し商品の高付加価値化を進め、ブランド力向上を目指す。

包装資材事業では、独自性の高い開発アイテムの早期投入を目指す。製造を担う子会社ではさらなる品質向上や合理化に向けた生産設備の改善を積極的に進めていく。

わが社は今年創業50周年の節目を迎える。震災の影響で市場だけでなく消費者の意識も変化していく中、3事業のトータルシステムをさらに推進させ、食文化の発展と人々の健康に貢献する取り組みを継続したい。

（徳島県北島町、088・698・4141）

受注増やし新分野展開

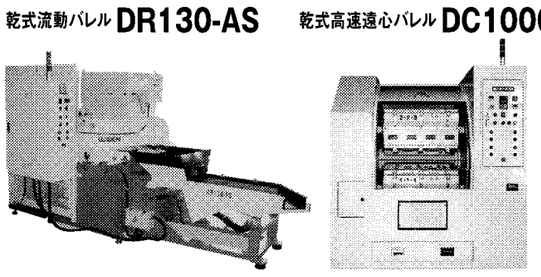
協同精機
新川 政夫 社長

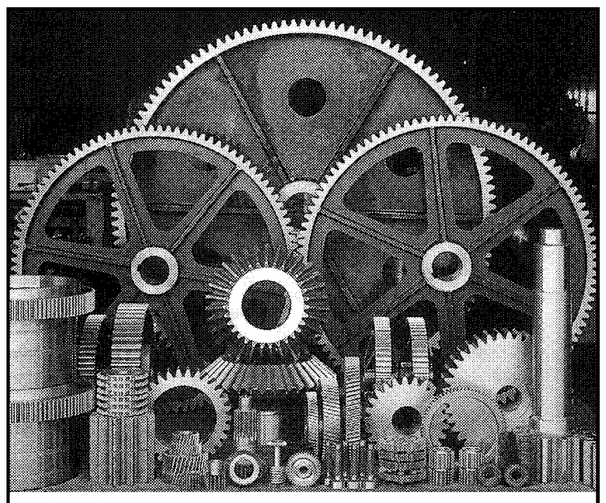
2010年5月から仕事量が増え始めた。新本社に移った今年4月は前年同月比40％増。08年のリーマン・ショック以前と同等に戻った。本社隣接の新工場は旧本社工場より粉体塗装ブースを増やし、半自動ラインを構築した。乾燥炉も増設しており、生産能力は従来の約1・5倍になった。

高い塗装技術が求められる工作機械で培ったノウハウはさまざまな分野に応用できる。化成皮膜処理やショットブラストなど、塗装品質を高める前工程も体制は万全だ。脱溶剤塗装が加速する中、粉体塗装に特化し、品質向上に取り組んできたことが昨年からの受注増につながっている。

欧州の工作機械メーカーに遅れたが、国内メーカーの多くが筐体の塗装を粉体に切り替えてきているし、産業機械はまだまだ余地がある。生産能力向上に伴い、工機、産機分野の受注拡大を図るとともに、建築や道路資材などの新分野にも展開したい。

（広島県福山市、084・983・1114）

環境に配慮した
乾式バレル研磨システム
金属・プラスチック・セラミックの粗研磨から光沢研磨まで可能!!
特長　①クリーンな作業環境　②ISO取得支援　③排水処理が不要　④作業工程の短縮（コストダウン）
乾式流動バレル DR130-AS　乾式高速遠心バレル DC1000

UJIDEN 宇治電化学工業株式会社
本　社　TEL 088-832-6162　フリーダイヤル0120-326162
東京営業所　TEL 03-3667-2426　FAX 03-3667-6803
大阪営業所　TEL 06-6971-2381　FAX 06-6971-4309
ホームページ　http://www.ujiden-net.co.jp


各種歯車製造・下請加工
多品種少量・試作品から量産品まで
歯切加工から歯研ギヤーまで迅速対応
株式会社 高知歯車　〒781-5101 高知市布師田3961-1
TEL(0888)46-2388 FAX(0888)46-2700
www.kochihaguruma.jp

キャンパスベンチャーグランプリ
第10回CVG中国（岡山、広島、山口、島根、鳥取）
第 9 回CVG四国（香川、愛媛、高知、徳島）
CVG　検索
学生から新商品、事業アイデア・ビジネスプランを公募し、優れたプランを表彰します。
募集部門：・テクノロジー部門　・ビジネス部門
募集期間：2011年9月1日～10月31日
募集対象：大学院、大学、短期大学、高等専門学校などに在籍する大学院生、学生の個人またはグループ
表彰制度：各地区ごとに賞金と賞状を贈呈
【問い合わせ】
キャンパスベンチャーグランプリ実行委員事務局　（中国）cvg-chugoku@media.nikkan.co.jp
TEL 06-6946-3321・FAX 06-6946-3329　（四国）cvg-s@media.nikkan.co.jp
URL　http://www.cvg-nikkan.jp/

プロファイル研削，微細工具研削用ドレッサー
ピンピンカドを追求
ポイントは高精度ドレッシング。
《簡単マニュアル差し上げます》
誰でも全てのボンドで（レジ、ビト、メタル）
#60～#10,000まで高精度ドレス
「CBN・ダイヤ砥石 初級鏡面実践研削講習会」　好評開催中　次回 6月10日(金) 開催
84回360名　受講済（有料）　受講者募集中
New
CBN砥石
ダイヤモンド砥石
で実現

実寸大
50mm
小型立形
ロータリドレッサ V41（10,000回転）
（内研、グラインディングセンター、治具研等）
オオタ株式会社　TEL 086-241-2048　FAX 086-241-2458
〒701-0145　岡山市北区今保82
http://www.ohta1.co.jp　E-mail:ohta-inc@po.harenet.ne.jp